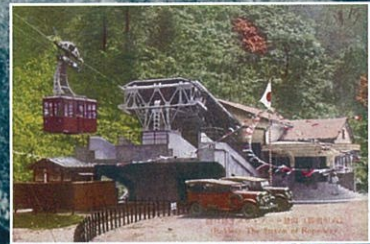
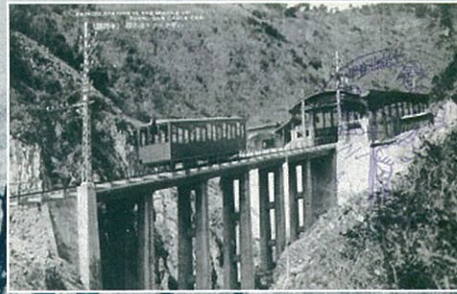


六甲山コレクション展

明治大正期
六甲山コレクション展

六甲山開発の歴史の「明治・大正期」「昭和初期」に焦点を当て、当時の写真や資料をパネルにして紹介します。



六甲ケーブル遊園より大阪湾を望む
Panoramic view of Osaka-bay from Mt. Rokko.

「明治・大正期」～六甲山の開発はこうして始まった～

明治元年に来日したグルーム氏により、六甲山の開発が始まりました。山上に外国人村(別荘群)ができ、日本で最初のゴルフ場ができました。外国人が始めた六甲山登山は今も様々な人たちに引き継がれています。六甲山の開発当初の様子をパネルで紹介します。展示内容:パネル9点

「昭和初期」～阪神・阪急の開発競争～

昭和に入ると阪神と阪急が六甲山開発に乗り出し、阪神間の各沿線での開発競争は山上に持ち込まれました。その結果、阪神間の各沿線での両電鉄の開発競争が「阪神間モダニズム」を進展させたように、山上には多くの施設が充実し、多種多様な人が様々な目的で登る六甲山を生み出しました。当時の六甲山のにぎやかな様子をパネルでご覧下さい。展示内容:パネル9点

開催期間

2017 10月17日(土)～10月31日(火)
(平成29年)
10:30～18:30(土・日休館) ※10月31日(火)は16:00終了

開催場所

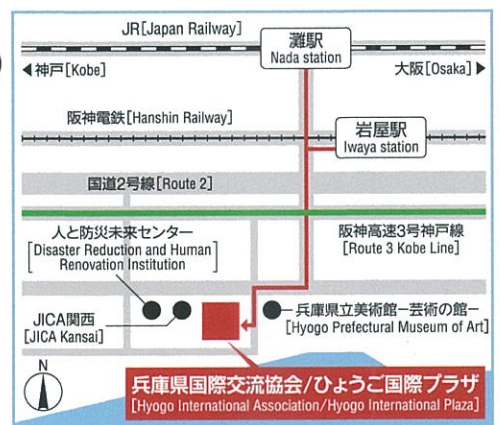
(公財)兵庫県国際交流協会
ひょうご国際プラザ交流ギャラリー

神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 国際健康開発センター2F

TEL:078-230-3262

入場
無料

- 主 催:(公財)兵庫県国際交流協会
- 共 催:兵庫県神戸県民センター
- お問い合わせ:(公財)兵庫県国際交流協会 海外事業推進課 TEL:078-230-3262



リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。